



ライフサイクルを通じた金融リテラシーの 促進

インドネシア 金融庁 (IFSA)
金融教育・消費者保護担当コミッショナー
クスマントゥティ・スティオノ

Japan, 8 April 2014

1

インドネシアの資本市場

2

国家政策の策定

3

ライフサイクルを通じた金融リテラシー



若者



勤労者



年金受給者



女性

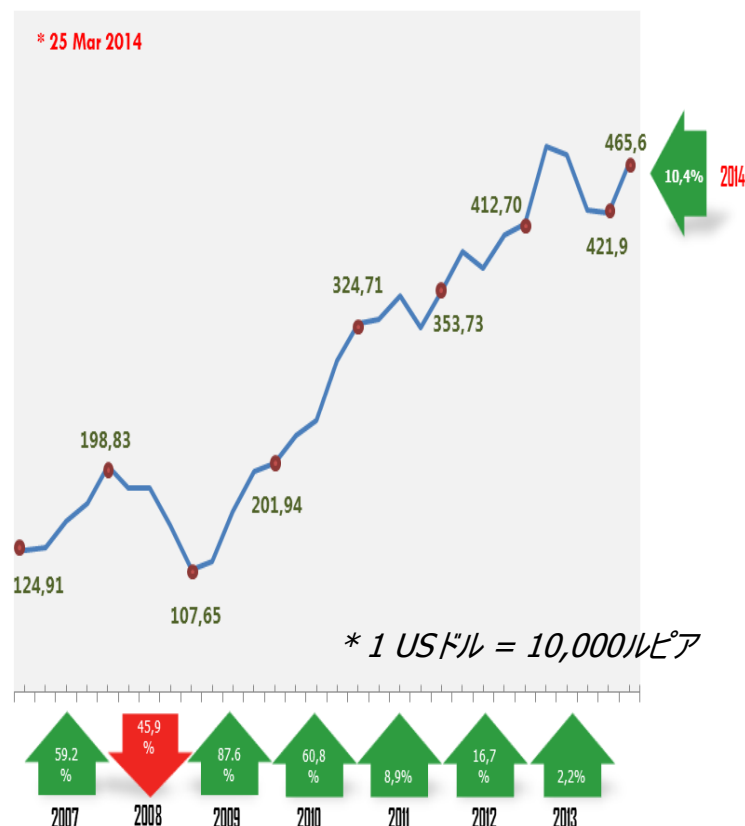
ジャカルタ総合インデックス (JCI)

～2014年3月25日現在



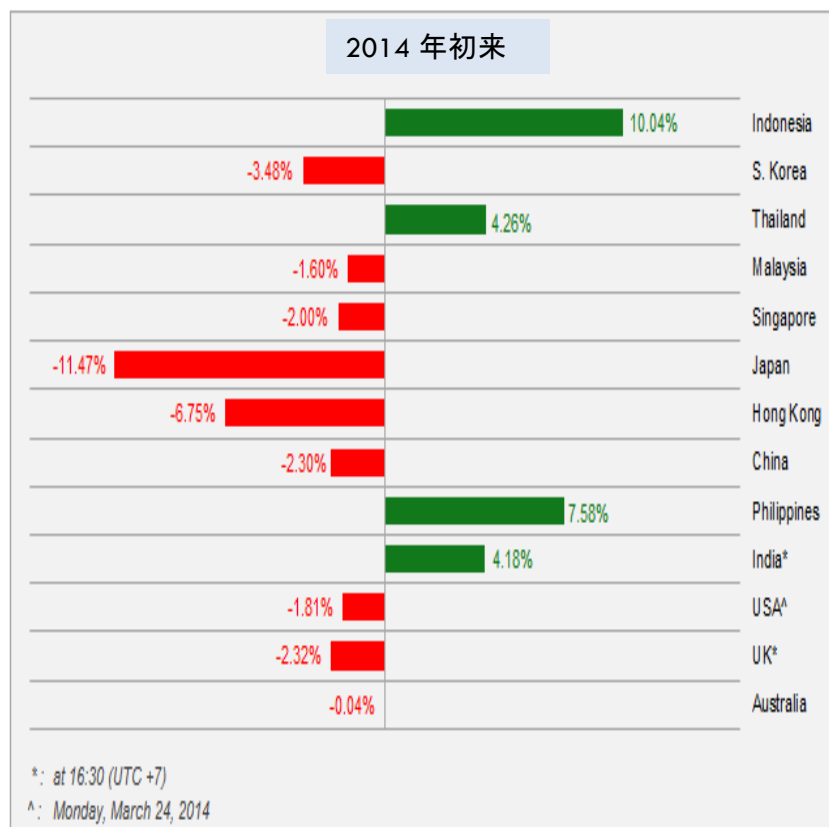
時価総額 (10億 USドル)

～2014年3月25日現在



各地域の指標との比較

2014年3月25日現在



対GDP比

2013年

指標	2012	2013
GDP	824,2	908,4
市場の時価総額	412,7	421,9
社債・ABS	18,9	22,1
政府債	82,0	99,5
資本市場時価総額の対GDP比(%)	62,3%	59,8%
株式市場時価総額の対GDP比(%)	50,1%	46,4%
社債の対GDP比(%)	2,3%	2,4%
政府債の対GDP比(%)	10,0%	11,0%

* 1 USドル = 10,000ルピア

10億USドル

IFSAの戦略

資本市場発展への焦点



資本市場の深化



法的強制力の向上



市場インフラの改善

第28条

2011年 法律No. 21

インドネシア金融庁は一般市民に対し、金融サービス業、金融サービス、金融商品の特徴について教育し、情報を提供する権限を付与された

インドネシア金融庁 規制No. 1/2013

2013年7月26日

金融機関は、コミュニティのフィナンシャル・リテラシーを向上させるため教育を行わなければならない。そのプログラムは毎年用意され、金融庁に報告されなければならない。

フィナンシャル・リテラシーに関する国家戦略

2013年11月19日、
大統領により着手



金融当局、金融機関、
その他のステークホルダーの
ためのガイドライン

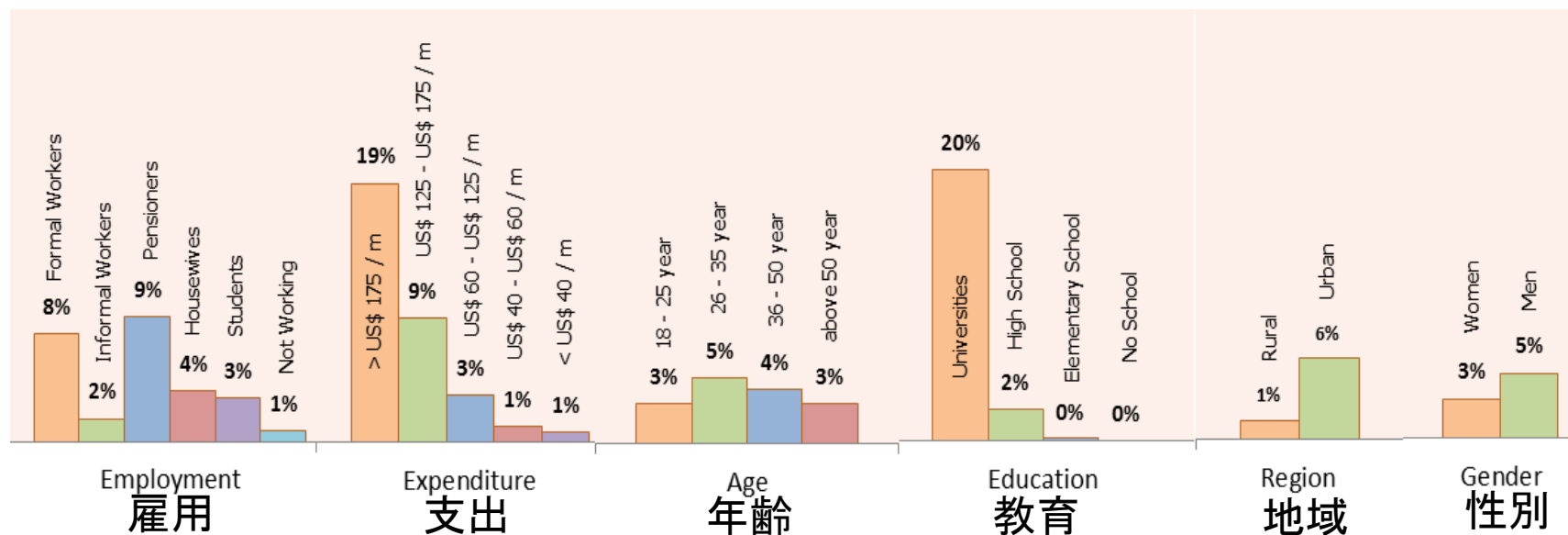
フィナンシャル・リテラシー基礎調査 2013

資本市場  **4%**
 **0.1%**

 知識がある
レベル

 知識を利用できる
レベル

普及の状況 資本市場セクター



金融知識が豊富な社会の実現と、金融商品の利用増加による
コミュニティの福祉の向上を支援

ビジョン

原則

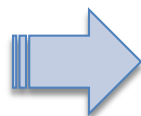
1. INCLUSIVE
包含的

2. SYSTEMATIC AND
MEASURABLE
システマチックで
計測可能

3. EASY ACCESS
身近

4. COLLABORATION
協働

ターゲット



金融知識が
豊富な 社会

- 専門家
- 労働者(被用者)
- 中小企業

- 主婦
- 学生
- 年金生活者

柱

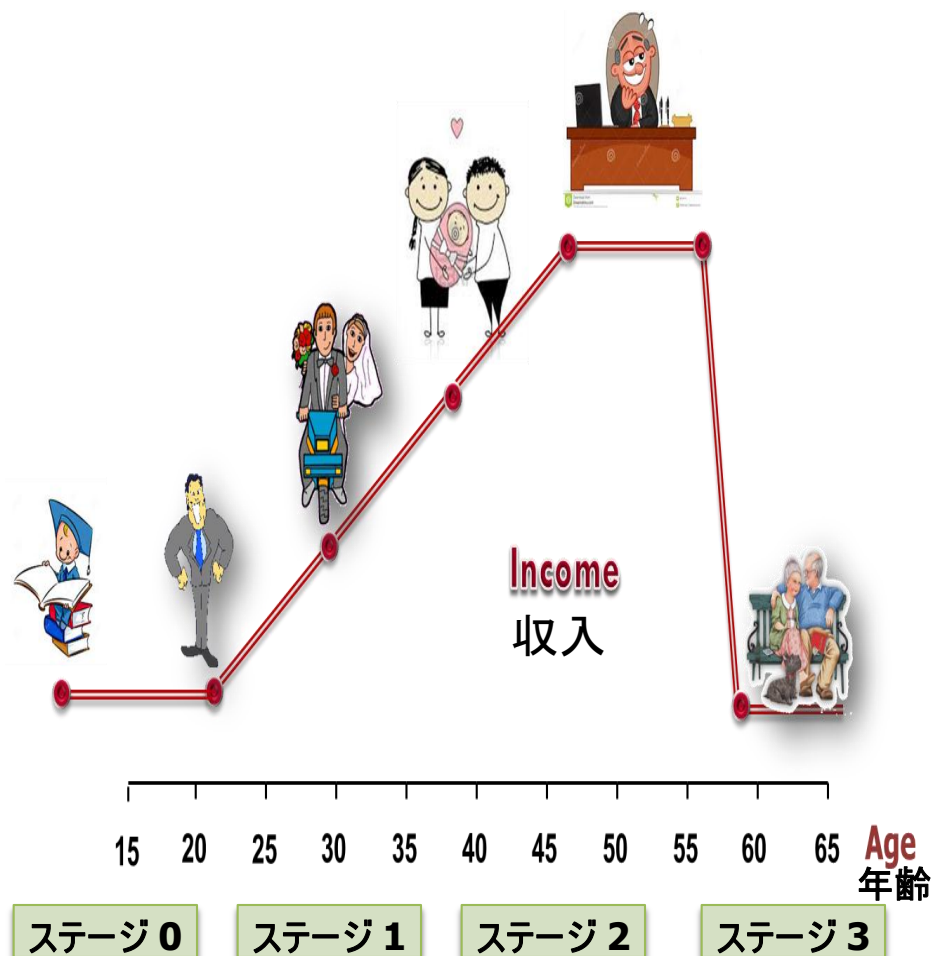
教育と国を挙げた
キャンペーン

インフラの強化

商品・サービスの
開発

ステークホルダーとの
協働

ライフサイクル・プログラム



金融教育は、幼少期に始まり高齢者になるまで続く、生涯にわたるプロセス。

金融教育プログラムは、下記に対応する内容を提供する必要:

- ▶ 参加者のニーズ
- ▶ 参加者の特徴

金融教育プログラムは、収入、年齢、教育、その他の特性が異なる参加者のために、内容をクリエイティブに伝える方法を生み出すべき。

若者

勤労者

年金受給者

女性

ステージ 0: 財産に関する基本的な知識

内容

金融教育は基礎的な知識の構築と、
若いうちから大人になるまで貯蓄習慣を
奨励することに着目すべき。

伝達手段

- 学校での教育 (カリキュラム)
- 教育者への教育 (教員)
- ミニ・バンク (金融機関)
- ゲーム

フィナンシャル・リテラシーは、
個人に不可欠な生活のスキルとして認
識されるようになった。

学校が果たす役割は
最重要である

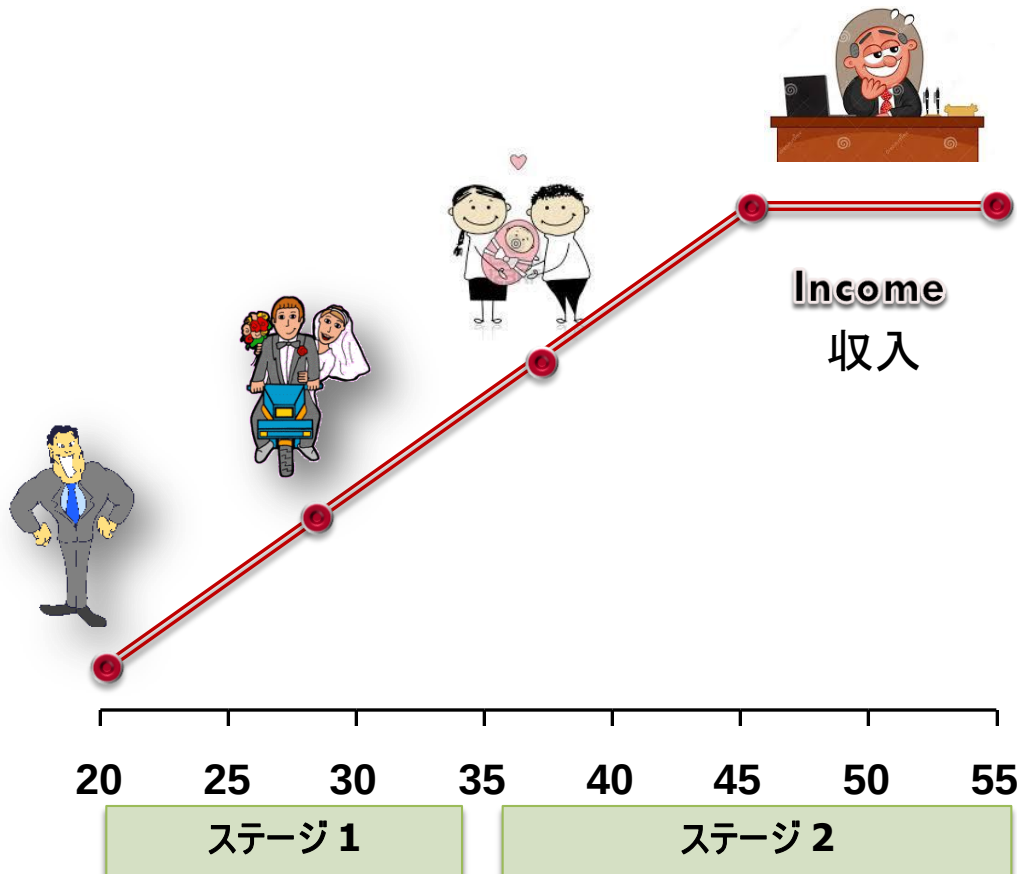
ライフサイクルを通じたフィナンシャル・リテラシー

若者

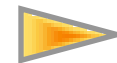
勤労者

年金受給者

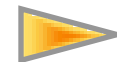
女性



ステージ 1: 基本的な財産の保全



20 歳代



30 歳代

ステージ 2: 財産の形成



40 歳～ 50歳代

若者

勤労者

年金受給者

女性

ステージ 3: 財産の分配

- 金融教育には遅すぎるかも
- (金融)消費者保護が重要に

5 原則

フィナンシャル・リテラシー基礎調査2013－年金基金



55 60 65

ステージ 3



知識がある
レベル

知識を利用
できるレベル



定年後に向けた貯蓄について、
個人が積極的な役割を果た
すことが重要

若者

勤労者

年金受給者

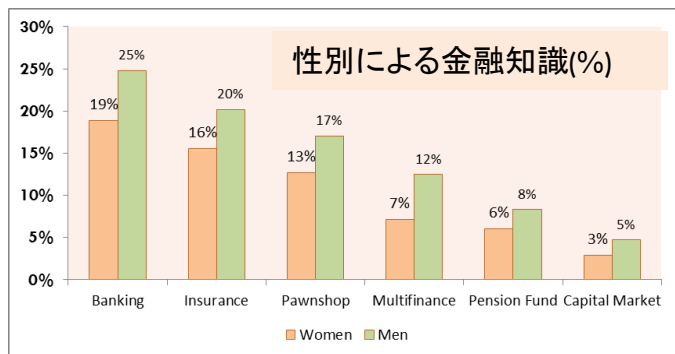
女性

女性も男性も金融知識を持つべきである。
女性にとって必要性はより高い。なぜなら:

- 家計資産の管理で主要な役割
- 金融に関する習慣を子供に伝達する主要な役割
- 低い所得と労働参加率
- 長い平均余命
- 低いレベルのフィナンシャル・リテラシーと金融への関与

内容:

- フィナンシャル・プランニング
- 定年後への計画
- 起業家精神
- 過重な債務の防止
- 金融商品



- 銀行セクターでは、男性の25%に対して女性ではわずかに19%しか十分な金融知識をもっていない。
- 6セクターの全てで、女性は男性と比較して知識が普及していない。

ライフサイクルを通じたフィナンシャル・リテラシー

金融教育プログラムは、対象となる参加者の教育水準の違いに応じ、内容をクリエイティブに伝える方法を生み出すべき。

伝達手段

都市在住者

- 教育用ウェブサイト
- ソーシャル・メディア
- 講義



地方在住者

- フィナンシャル・リテラシー・カー
- アウトリーチ・プログラム
- 広告: テレビ、ラジオ、新聞

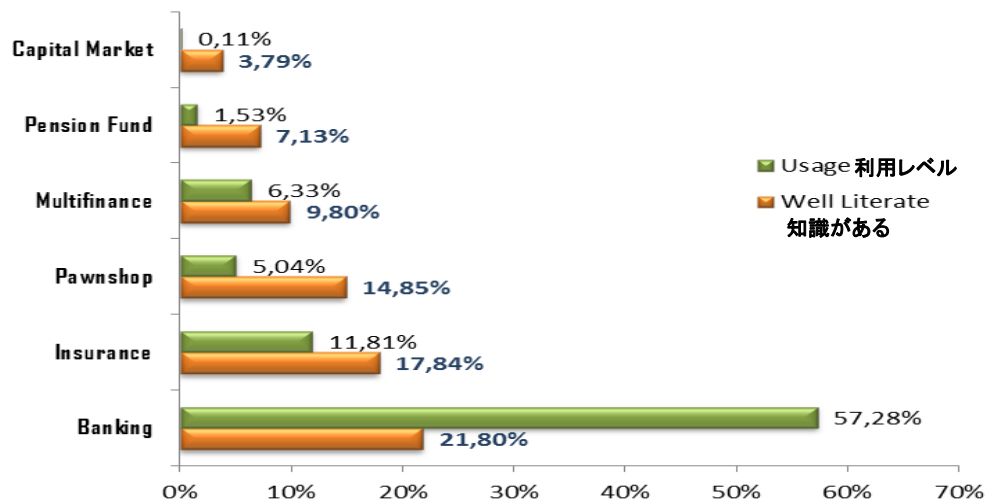


金融顧客への対応

顧客が情報を提供・受領し、苦情を申し立てられるシステム



フィナンシャル・リテラシー基礎調査 2013



2013年に実施されたフィナンシャル・リテラシー調査は、過去最大規模であった

- 20 地域 (アチエからジャヤプラまで)
- 8.000名の回答者

3 年毎に実施

評価
プログラム

アウトリーチ・プログラム

全てのプログラム

アンケート

全ての教育プログラム

ライフサイクルを通じたフィナンシャル・リテラシー



THANK YOU

Mrs. Kusumaningtuti S. Soetiono
Member of Board Commissioners
in Financial Education and Consumer Protection, IFSA

Telp : +62-21 2981-7002
Fax : +62-21 350 1886
Mobile : +62-811-922-942
Email : kusumaningtuti.soetiono@ojk.go.id